

## 新県立図書館等複合施設整備事業

予算額 240,000 千円 (R1.9 補正 31,500 千円)

(債務負担行為 321,000 千円)

### 1 事業の目的・概要

知識や情報の収集・発信拠点として、すべての県民が生涯にわたり豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できるようにするため、3館ある県立図書館を1館に機能集約した上で、文書館との複合施設となる新たな「知の拠点」を整備します。



中央図書館 (千葉市中央区)

### 2 事業内容

新千葉県立図書館等複合施設基本計画 (令和元年策定) を踏まえ、引き続き、各種調査を実施するとともに、基本設計に向けた検討を進めます。



文書館 (千葉市中央区)

- ・埋蔵文化財調査等 240,000 千円  
(債務負担行為 47,000 千円)
- ・基本設計業務委託  
(債務負担行為 274,000 千円)

### 3 新県立図書館等複合施設の概要

[整備場所] 青葉の森公園内  
(千葉市中央区)

[敷地面積] 18,500 m<sup>2</sup>程度

[延床面積] 17,000 m<sup>2</sup>程度



担当課・問い合わせ先 教育庁教育振興部生涯学習課

043-223-4070



## 県立美術館活性化事業

予算額 27,014千円 (R1 17,000千円)

### 1 事業の目的・概要

県立美術館の魅力を高め、これまで以上に若年層や、東京オリンピック、パラリンピックで本県を訪れる国内外の観客等に向け、本県の豊かな美術・文化の鑑賞機会を提供します。

### 2 主な事業内容

#### (1) 特別展「日本文化の華 大相撲展（仮称）」の開催 21,000 千円

日本文化である大相撲を、美的観点から捉えなおす展示を行います。

[開催時期] 令和2年7月中旬～9月下旬（予定）

[内 容] 化粧まわしや行司の衣装約200点、実寸大土俵の体験展示、力士トークショーなど（予定）



化粧まわし



行司の衣装



土俵

#### (2) 常設展示の充実 6,014 千円

##### ・「アート・コレクション名品展（仮称）」の開催

県立美術館が所有する目玉作品を一挙に展示する展示会を開催します。

[開催時期] 令和2年10月下旬～令和3年1月中旬（予定）

[内 容] 浅井忠、ミレー、ルノワールなど県立美術館の所蔵作品約20点（予定）

##### ・「魔法の手 ロッカクアヤコ作品展（仮称）」の開催

本県ゆかりの現存アーティストによる作品展を開催します。

[開催時期] 令和2年12月中旬～令和3年1月中旬（予定）

[内 容] 絵画等約20点、ワークショップの実施（作家による作品制作、2回予定）

アート・コレクション名品展(仮称)

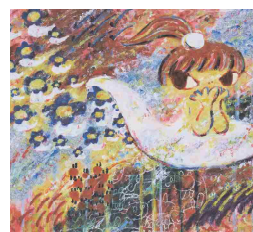


あさいちゆう ぎょふ  
浅井忠「漁婦」

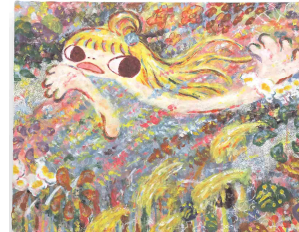


みれー「垣根に沿って草を食む羊」

魔法の手 ロッカクアヤコ作品展(仮称)



©GALLERY TARGET



©GALLERY TARGET

担当課・問い合わせ先

教育庁教育振興部文化財課

043-223-4127

## 総合スポーツセンター野球場照明設備設置事業

予算額 60,000千円 (R1 20,000千円)

(債務負担行為 991,000千円)

### 1 事業の目的・概要

リニューアルした総合スポーツセンター野球場について、さらなる利便性の向上や熱中症対策等利用者の安全確保のため、照明設備を設置します。

### 2 事業内容

照明塔6基の設置 (総事業費：10.7億円)

(うち、令和2年度実施分：照明塔杭工事及び基礎工事 60,000千円)

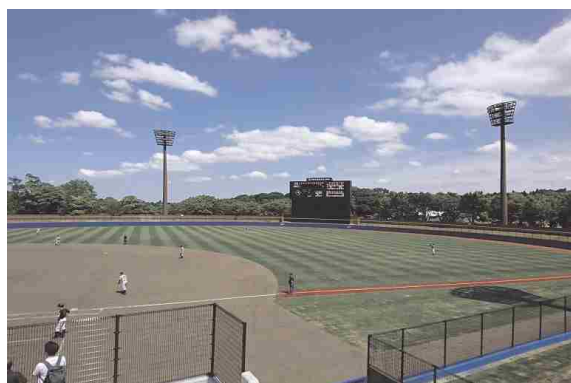
(年次計画)

年度	金額	主な内容
R1	20,000千円	実施設計
R2	60,000千円	照明塔杭工事、基礎工事
R3	991,000千円	照明塔の設置、電気設備工事
計	1,071,000千円	

### 3 供用開始

令和3年中 (予定)

#### 照明塔設置のイメージ



担当課・問い合わせ先  
教育庁教育振興部体育課  
043-223-4106

# ちばアクアラインマラソン開催事業

予算額 145,000千円 (R1 47,000千円)

## 1 事業の目的・概要

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力の発信のために、東京湾アクアラインを活用した「ちばアクアラインマラソン2020」を開催します。

## 2 事業内容

(1) 開催日時 令和2年10月18日(日) 午前9時55分から午後4時まで

(2) 種目等

種目	定員	制限時間(スタート号砲から)
マラソン (42.195km)	12,000人	6時間 (午前10時スタート)
ハーフマラソン (21.0975km)	両種目合わせて 5,000人 ※車いすハーフマラソンは 10名程度を目安とする。	3時間10分 (午前10時スタート)
車いすハーフマラソン (21.0975km)		1時間10分 (午前9時55分スタート)

(3) ランナー等募集

- ・「一般枠」 令和2年4月3日(金) 正午～5月7日(木) 午後5時
- ・「特別枠」 詳細は募集要項(第15回総会 ※2月開催予定)で発表します。
- ・「ボランティア」 令和元年11月25日(月)～令和2年5月7日(木)

(4) その他

大会コンセプトの一つである「千葉県の魅力発信」として、大会当日を含む各種イベントの実施を予定しております。

※イベントの実施については、今後、詳細等が決まり次第、大会公式ホームページ等にて、随時発表いたします。

担当課・問い合わせ先  
教育庁教育振興部体育課  
043-223-4103

《コースマップ》



# 障害者アスリート強化・支援事業【新規】

予算額 20,000千円

## 1 事業の目的・概要

東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として築いてきた支援体制をレガシーとし、大会終了後も千葉県ゆかりの障害者アスリートが継続的に競技力の向上を図れるよう助成します。

## 2 事業内容

### (1) 対象者

千葉県ゆかりの障害者アスリート

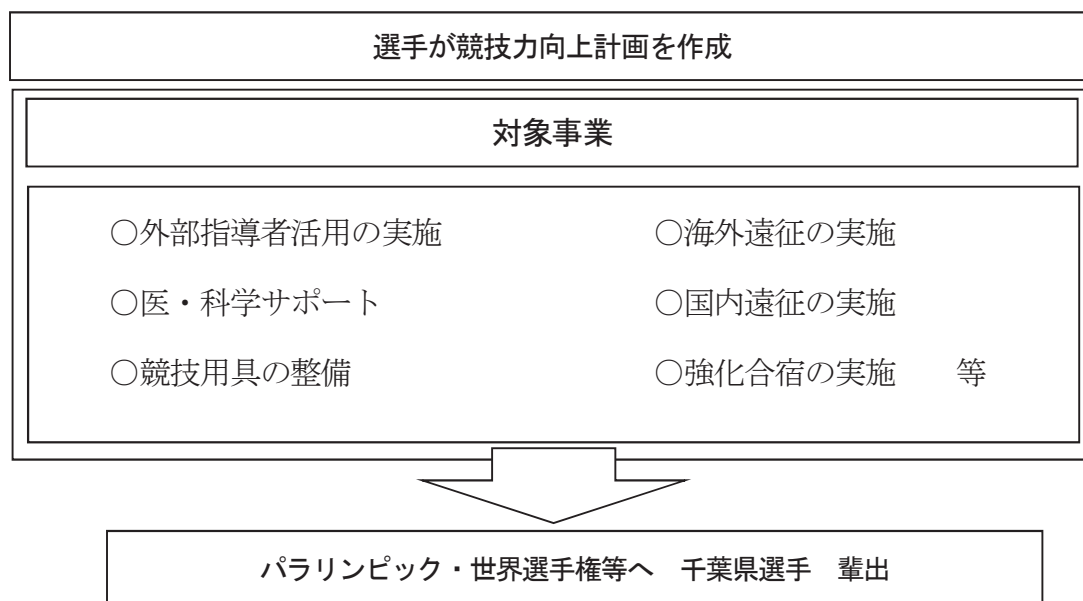
(県内の学校の在籍者、県内スポーツクラブ在籍者、県内在住者、県内勤務者など)

### (2) 対象競技

パラリンピック実施の22競技

### (3) 実施内容

競技力向上計画に基づく対象事業に対して助成



担当課・問い合わせ先  
教育庁教育振興部体育課  
043-223-4101

# 外来種特別対策事業

予算額 141,930千円 (R1 112,824千円)

## 1 事業の目的・概要

特定外来生物のうち、生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれがあり、特に対策が必要なキョン、アカゲザル、カミツキガメ、アライグマ等について、防除実施計画に基づき、早期防除を実施します。

また、本計画について、令和2年度末に計画期間が終了することから、改定に向けた調査等を実施します。

## 2 主な事業内容

### ○キョン 26,218千円 (R1 20,649千円)

生息数の低減や分布拡大の防止・縮小を図るため、県が捕獲事業を実施します。また、キョンの専門職員が、ICT等を活用しながら、効果的な捕獲技術の開発を行い、その普及を図ります。

[防除実施地域] 夷隅地域及びその周辺地域、分布の外縁部

### ○アカゲザル 69,512千円 (R1 53,281千円)

ニホンザルの地域個体群の保護及び農業被害等の防止のため、県がICTを活用した捕獲事業を実施します。これまでの生息状況調査の結果、新たに行動範囲が把握できた群れの捕獲を行うため、大型囲いわなを増設します。

[防除実施地域] 房総半島南部

### ○カミツキガメ 34,556千円 (R1 34,513千円)

令和元年度までの捕獲状況等を踏まえ、これまでに多数の生息が確認された水田周辺の水路等を中心に、集中的な捕獲に取り組みます。

[防除実施地域] 印旛沼水系

### ○アライグマ 11,444千円 (R1 4,181千円)

生態系や農業等への被害防止を図るため、捕獲を行うとともに、アライグマ防除に関する普及啓発、捕獲技術向上のため講習会等を開催します。

[防除実施地域] 県内全域

キョン



アカゲザル  
(池田文隆氏撮影)



カミツキガメ



アライグマ



担当課・問い合わせ先

環境生活部自然保護課 043-223-2975

# 湖沼における外来水生植物対策事業

予算額 101,330千円 (R1 10,000千円)  
(債務負担行為 62,000千円)

## 1 事業の目的・概要

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物が、印旛沼及び手賀沼とその流域河川で急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や、農業・漁業被害などが懸念されることから、令和元年度に実施した調査・検討結果をもとに計画的な駆除等を進めます。

## 2 主な事業内容

### (1) 手賀沼における計画的駆除

令和元年度に実施した繁茂状況の調査や駆除方策の検討結果を踏まえ、優先度の高い群落から計画的な駆除に着手します。

### (2) 印旛沼における水生植物繁茂状況調査

駆除の実施に向けた方策を検討するため水生植物の繁茂状況を調査します。



手賀沼における令和2～3年度の駆除エリア

担当課・問い合わせ先

環境生活部水質保全課 043-223-3814

## 住宅用省エネルギー設備等導入促進事業【一部新規】

予算額 300,000千円 (R1 315,500千円)

### 1 事業の目的・概要

家庭における地球温暖化対策の推進のため、住宅用の太陽光発電設備や燃料電池（エネファーム）などの導入経費について、市町村と連携して助成を行います。また、家庭の冷暖房エネルギー消費量の削減効果が高い「窓の断熱改修」を新たに助成対象に加え、家庭における地球温暖化対策の一層の推進を図ります。

### 2 事業内容

県補助金を活用して、市町村が住宅用省エネルギー設備等を設置する住民の方に補助金を交付します（市町村により補助対象設備は異なります。）。

### 3 補助対象

#### ○太陽光発電設備

太陽電池を利用して太陽光から電気を作り出す設備です。

【補助単価】 2万円/kW（上限額9万円/件）



#### ○燃料電池（エネファーム）

ガスと空気から電気とお湯を作り出す、エネルギー効率の高い家庭用のシステムです。

【補助単価】 5万円/件



#### ○家庭用蓄電池

ためておいた電気を昼の電力需要ピーク時に使用したり、災害時に使用したりできます。

【補助単価】 10万円/件



#### ○太陽熱利用システム

太陽の熱で水や空気を温め、給湯や暖房に利用するシステムです。

【補助単価】 5万円/件



#### ○窓の断熱改修【新規】

夏場の熱流入、冬場の熱流出の主な要因である窓を改修し、断熱化を行います。

【補助単価】 補助対象経費 × 1/4（上限額8万円/件）



担当課・問い合わせ先

環境生活部循環型社会推進課

043-223-4139